

電気通信大学「政治学B」配布レジュメ

水曜5限（16：15～17：45）・・・教室 講師：米山忠寛

後期第01回：2023年10月 4日（水） 対面授業実施

来週10月11日は「遠隔・オンライン」で実施見込みです。

「ガイダンス」 「議会」

---

## ※※ 2023年度はコロナ禍からの移行期 ※※

◎対面授業と遠隔オンライン授業の併用。（オンライン授業が5回。その他休講など。）  
（休講については補講が学期末にできなくなったとかで、土曜日補講か補講分を課題でこなすか、制度の詳細が不明。いずれにしろ補講については出席義務なし。）

◎対面授業回については・・・教室。

遠隔オンライン講義の回についてはオンデマンド形式。WebClass。

講義レジュメや音源をダウンロードあいて各週内の任意の時間に各自が学習する。

対面実施か遠隔実施かについては基本各回交互に、1～2週間までに告知する。

◎成績評価については、WEBレポート・（論述試験問題）持ち帰り試験形式。

※90分の講義の全部を話すのではなく、20分弱の録音4本など。

余りの時間が発生したら復習時間などに。

※準備の時間の都合で本論は先に別収録で録音していることがある。

（質問や事務連絡の部分は直前に音声収録）

〔本論部分〕（早めに収録）＋〔時事質疑・事務連絡部分〕（直前に収録）

※人数が確定していないが、ほどほどの人数に収まるようであれば、受講生

からの質問がしやすいように配慮したい。大人数だと一度に集中するとパンクするが

※担当講師と受講生の約束：

レジュメ・音源などは基本的に受講終了後廃棄するという建前になる。

政治学では政治的内容に関わる講義内容・発言も当然行われるが、それを講義受講目的以外で外部に流出させないこと。

失言騒動などに関わらされてはたまらない。この点が約束できない場合は受講を認めない。この点について問題が発生した場合には、受講登録後でも受講許可を取り消し、過去にさかのぼって単位認定も取り消す。

（オンラインでの変則的な事態に対応して）

---

メモ：

○本論（事前）＋時事質問（直前）：別収録・別録音

○質問：希望者が質問 対面の質問カード、WEBの質問ボックス

○アップロード時刻など

(作業や質問の集中などで当日夜などに遅れることも)

---

(以下対面の場合)

## 1. 受講に際しての注意

※私語は厳禁である。講義の妨害であり許されない。もしも緊急の会話が必要であるとしても教室で行う必要はない。周囲に迷惑にならない様に静かに退出し、用件を済ませること。

※講義終了後に随時質問を受け付ける。

※教室内での食事は禁止とする。ただし猛暑時の水分補給などは考慮する。

夏場に冷房が効かない場合などは給水タイムが必要になるかもしれない。

※携帯電話などでの板書の撮影は禁止。今後は一般的になるのかもしれないが、現在はまだ礼儀を欠く行動と扱われているものと思う。腕を怪我して筆記が困難などの個別の事情がある場合は事前に申し出て許可を得るように。

## 2. 単位取得・成績評価に関して

勉強をしなればと思うことは負担でもあるが成長の機会でもある。負荷が弱いと成長もしない。甘すぎると努力が評価されないが厳しすぎるのは過度な負担となる。

[成績評価に関して]

レポート形式の持ち帰り試験：

論述形式の試験問題を試験会場ではなく自宅で解答してオンラインで提出するというもの。学生の皆さんにとっては試験会場での試験よりは楽になるものと思われます。

WEBで出題      自宅で解答（24時間以内の提出など）      オンラインで提出

(締切A：1日間・24時間+α)

(締切B：5日間・120時間程)

当初の予定は、

○筆記試験（90%）+平常点（出席状況+コメントカード：10%）      だったが、

※オンライン講義での例だと

[各範囲の理解度確認課題・小レポート3～4回] + [平常点]

※内容についての質問・難易度や進行速度への要望・試験などの事務的質問、教室の冷房が弱い、今度の選挙はどうなるのか、等々、基本的に全部読む。代表的な質問20個程については次回以降（匿名の）QA形式で配布するのでその点は了解して欲しい。（掲載を希望しない個人的な事柄などの場合はその旨の記載を）。

「高校で政治経済を勉強していたのでわかりやすかった」

「この部分がわかりにくかったのでもう一度聞きたい。」などがあると参考になる。  
以前は「トランプ大統領の外交の解説をして欲しい」などの要望が多くあった。

平常点は単位取得自体には必須ではない。試験答案が良ければ単位は得られる。  
コメントカード1枚で1～2点程度なので提出に漏れがあっても単位取得は可能。

---

### 3. 教科書・参考書について

教科書は指定しない。(履修の前提として購入を必須とするテキストはない)  
ほぼ毎回配布するレジュメの内容が基本となる。

参考書として講義の進行の参考にするテキストとして、

○久米郁男他『政治学 補訂版』 有斐閣 3,400 円＋税

(その他の参考書として、

○川出良枝他『政治学』 東京大学出版会 2,200 円＋税 も良書。)

※有斐閣の方が範囲は広い。前期後期4単位分にちょうど良いのでこちらを基本とする。

※有斐閣については、[旧版]でも[補訂版]でも内容に大差はない。

・やや値段が高いが[旧版]ならブックオフなどで100円・500円なども。

※有斐閣のテキストは内容は充実しているのだが、難易度はかなり高い。

そのため全部は説明せずに適宜簡略に調整する。分量がやや多めで難易度もやや高め  
なので、いくつかの章は略して、難しい部分については補充説明を多めにする。

たとえば公務員試験などに使う際には便利なテキストでもある。

---

### 1. ○「政治学B」では政治学の中でも、制度的・機構的な側面を扱う。

比較的具体的な内容が多めかと思う。(前期Aは理論的、後期Bは具体的。)

後期・B : 現代社会の政治的な仕組みや考え方を理解する。

○後期の内容として現在の政治・社会で問題となっているトピックについて、必要な  
背景知識の解説と合わせて扱っていく。予定している内容は、「議会と内閣」「官僚  
制と政策形成」「選挙と政党」「戦後日本政治」「2023年の政治状況」など。

(理解度や受講者の関心も見ながらによって進行速度は調整する)

○例えば、「政治や政策はどのように作られているのか？」

みなさんの今後の研究や社会人としての生活は「科学技術の予算・政策」次第で  
大きく左右される。(文系の研究費もその巻き添えで左右される。)

(有名な例としては、天文学とアポロ計画。大きなプロジェクト)

○これから皆さんが電通大を無事に卒業して研究所などの運営に携わることになった  
時に、政治のプロセスや政策が形成されていく過程がおおまかにでも理解できて

いと便利。専門科目しかわからないと言われたい様に。苦手意識を減らしておく。

○この「政治学B」だけしか政治学の科目を受講しない場合であっても、他の人文社会系の学習に際しての背景知識としては無駄にはならないはず。

---

(本論に入って最初のテーマ)

「議会と内閣」まずは「議会」について。有斐閣『政治学』では第10章。

「議会」

○「議会」という政治制度について。小学校から高校まで公民や政治経済の授業で何度も何度も勉強してきたはず。「国民の代表でしょ？、知っています」と言いたい気持ちもわかりますが、政治学の中で改めて学んでみましょう。

○今日の世界では、多くの国々で議会制民主主義が採用されている。「議会制民主主義」(＝自由民主主義)は、自由主義・民主主義の混合とも言える。では、・・

Q. 小学校だと「国会(議会)は法律を多数決で『決める』場所」と教わる。それで正しい？

Q. 北朝鮮の正式名称は「朝鮮民主主義人民共和国」となっている。でも独裁国家じゃないか、民主主義って名乗っているのはおかしいことか？

・・引っ掛け問題ではないですが、「議会というのは決定をする所」という答えですと不十分になる。(正確には「半分誤り」。)議会の役割からはズレてしまう。

関連して、

- ・小学校中学高校の学級会やホームルーム。文化祭の出し物など。最初にアンケートをとって1位の内容で良いじゃないか。なんで「話し合いを！」と言うのか？、時間の無駄？「みんながお化け屋敷をやりたいと言っているのだから、話し合いなんて無駄だよ。終わりにしよう！」～でも先生はとにかく話し合いをしなさいと言います。
- ・NHKの国会中継もどうもつまらない。時間の無駄に見えますか？

○議会という制度の中には様々な要素が込められています。「民主主義」「自由主義」や、(この後に扱う)「政党・選挙」「政策形成」などなど。その際に重要となるのは、議会は「決定」をする場であり、且つ又「審議」をする場である、ということです。そこには少しズレがあるということです。

「民主主義」・・決定だけなら選挙で良いのだろうか。なんで議会があるの？

「自由主義」・・議会の役割は時間を掛けて問題点を国民に示すことにある。

また議会の役割というのを説明するのに、議事妨害・引き延ばしなどの説明を欠くことはできない。丁度良いことに先年2015年9月の安保法制審議に関わる混乱は、良い教材になってくれそう。政策への賛成・反対は横に置いて、「議会」の役割や位置付けについて考えてみることはできる。